

宮城交通株式会社

→ 候補生から運転士を目指す ←



MIYAKOHO
GROUP

先輩社員に
アンケート！

仕事のやりがい

運転士の魅力はなんですか？

指導運転士

泉営業所 Nさん

入社

2017年4月



Q1 入社を決めたきっかけは何ですか？

A 地元の宮城で交通に関わる仕事をしなかったこと、大型二種免許の取得支援制度など、未経験者にも門戸が広がったことが魅力に感じられ、入社を決めました。

Q2 大型二種免許を取得するまでの期間はどのくらいでしたか？また、運転士としてデビューするまでの研修はどうでしたか？

A 免許取得自体は3ヵ月程度でしたが、その前に半年ほど本社や定期券発売所で研修を受けました。バス会社は運転士以外にも多くの人で成り立っていることを実感しました。

Q3 今の仕事で楽しいこと、やりがいは何ですか？

A 悪天候や渋滞で遅れて運行することもあります。それでも降車されるお客さまからの「ありがとう」の一言にはやりがいを感じます。

Q4 運転士の「ここが良い」、魅力的なところはどこですか？

A 慣れるまで時間はかかりますが、自分のペースで仕事ができるようになります。休憩時間に同僚と談笑したり、皆思い思いに自分のペースで仕事をしています。

Q5 応募を検討している人へメッセージ

A 同僚の社員はいい人たちばかりです。年齢層も様々でコミュニケーションを取りながら楽しく働けます。いつか皆さんと一緒に仕事ができることを心待ちにしています。

運転士

泉営業所 Kさん

入社

2021年4月



Q1 入社を決めたきっかけは何ですか？

A 新車導入や研修センターの設置などの安全投資、健康経営優良法人に認定されるなどの説明を聞き、充実した研修や健康に気遣いながら働くことができる環境が魅力でした。

Q2 大型二種免許を取得するまでの期間はどのくらいでしたか？また、運転士としてデビューするまでの研修はどうでしたか？

A 約2ヵ月で大型二種免許を取得。その後、社内研修で大型バスの運転について学びます。初めてで大変ですが、不安に対しては指導運転士の方がきちんと対応してくれます。

Q3 今の仕事で楽しいこと、やりがいは何ですか？

A 朝晩の通勤ラッシュなど何気ない日常を支えているところです。会社や学校に向かう皆さんを何事もなく目的地に運ぶことにやりがいを感じます。

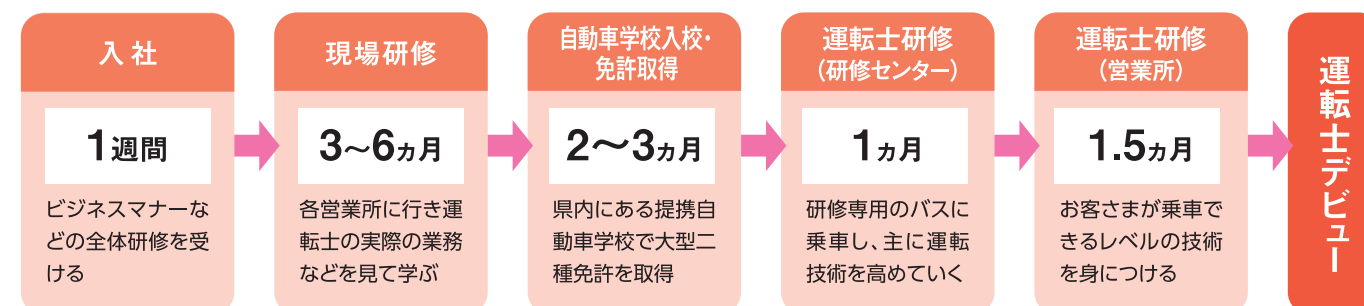
Q4 運転士の「ここが良い」、魅力的なところはどこですか？

A 丸一日働くシフトもあります。その日は途中で長めの休憩があり、営業所内の仮眠室でしっかりと身体を休ませられる環境が整っていることです。

Q5 応募を検討している人へメッセージ

A 皆さんも日常生活を支えている路線バスで地域のお客さまを安全に目的地に運ぶやりがいを感じてみませんか？

候補生から運転士へのステップ



2025年3月

公式HP

宮城交通株式会社

仙台市泉区泉ヶ丘3-13-20
TEL/022-771-5310(代表) FAX/022-771-5455





バスへ乗務する前に 注意事項などを伝達

勤務時間に合わせて出勤し、自分が乗務するバスを点検した後に行われるのが点呼です。運転前の健康状態の確認はもちろん、天候や当日の道路の状況など、その日の運転で注意すべき事項が伝えられます。



東北初となるバス運転士の 育成研修センター

2023年4月、宮城県村田町に設立された研修センター「Cocode」。運転技術を高めるために教習コースやシミュレーターを用いての実習ができるほか、過去の宮城交通の歴史を学ぶことができる展示室なども備えています。夜間教習時には、ビジネスホテルのような個室に宿泊できます。



安心安全な走行で お客さまに高い満足を

運転士デビュー前には指導運転士が運転前点検からバスの運行までつきっきりで丁寧に指導してくれます。もちろん、疑問などにも答えてくれますので不安なく運行することができます。



車外はもちろん車内の お客さまの動きにも注意

運転中は窓やミラーなど視界に入る他の車の動きはもちろん、車内でお客さまが走行中に立ち上がらないかなどをチェック。割込みなど危険な運転をしそうな車があるときには、危険を予測し対応できるようにしています。



タイヤからライトまで 細大漏らさずに点検

毎日の運行前に、自分が乗務するバスの状態を点検します。タイヤの空気圧やボルトの締め付けに始まり、各種オイルの状態やライトの点灯具合の他、車内のワンマン機器の点検など多岐に渡ります。



運転士は通学や通勤など地域住民の日常生活を支える頼もしい存在。

運転士として交通事業を支え、誇りとやりがいを持って働く

総合交通産業で
宮城県民の生活を支える

1970（昭和45）年の営業開始以来、「宮城交通」は県民の皆さまの生活に欠かせない路線バスの運行を皮切りに、時代のニーズに呼应し、事業の幅を広げています。

現在は仙台市内における路線バスの運行を担う当社を中心に、郡部における路線バスの運行を担う「ミヤコーバス」、バスや普通自動車車の整備、車検などを手掛ける「宮交自動車整備」、旅行代理店業務を行う「宮交観光サービス」、自動車・バイクの教習所として機能する「宮交自動車学校」の5社でグループを形成しています。

県下に73路線を展開し、「地域の活力あるまちづくりを推進する」という経営方針のもと、総合交通産業の運営を通じて次世代を見据えた事業拡大や既存事業強化に取り組んでいます。お客さまの多様なニーズに応えることはもちろん、近年では、FCバス（燃料電池バス）を導入するなど、環境への取組も推進しています。

宮城の交通事業へ貢献
充実の福利厚生も魅力

路線バスなどの運行を担う運転士は、県下を網羅する交通事業を通して大きなやりがいを得られる職業です。

毎年、新卒では「運転士候補生」として採用を行い、近年は女性運転士も増加中。キャリアを重ねれば高速バス運転士などへのステップアップも可能です。運転士デビュー前には指導運転士による丁寧な指導があり、業務上のサポートや悩みにも応えてくれます。

福利厚生や支援も充実。仙台市奨学金返還支援事業の協力企業として奨学金返還支援を受けられるほか、3年以上の勤務で返済義務がなくなる大型二種免許取得支援制度（免許未保持者に取得費用を貸与）も導入しています。また、ライフステージに応じた産休・育休なども用意。さらに「日本一安全なバス会社」を目指し、年2回の健康診断を始め、睡眠時無呼吸症候群に関する検査、人間ドックと脳ドックの費用補助を実践するなど、安心して働ける環境を整えています。

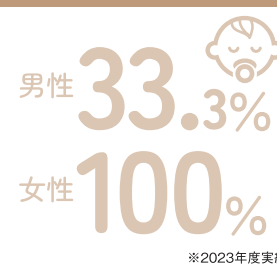
数字で見る宮城交通

働きやすさをデータでチェックしよう!

有給休暇取得日数



育休取得率



平均勤続年数



運転士候補生 新卒採用人数

